

令和8年8月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和8年8月12日（水）午後2時30分～午後3時15分

2. 場 所 市役所新館 4階 第1委員会室

3. 出席者

教育長 谷 桂輔 教育長職務代理者 植原 和彦 委 員 和田 郁美
委 員 伊藤 雅彦 委 員 大荷 啓司

4. 事務局出席者

教育総務部長 山田 潤／学校教育部長 倉垣 裕行／生涯学習部長 池内 正彰
総務課長 柿花 真紀子／学校適正配置推進課長 今橋 章吾／学校給食課長 寺埜 朗
学校管理課長 倉橋 良弥／産業高校学務課長 橋本 純／人権教育課長 松本 真里
生涯学習課長 長谷川 真紀／スポーツ振興課長 仲村 英二
郷土文化課長 井上 慎二／図書館長 宇野 義文／総務課参事 二宮 明生

開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に和田委員を指名した。

傍聴人3名。

○谷教育長

ただいまから、7月定例教育委員会会議を開催します。

報告第41号 第80回大阪府総合体育大会・泉南地区大会成績及び中央大会出場について

○谷教育長

報告第41号について、説明をお願いします。

○仲村スポーツ振興課長

報告第41号につきましては、第80回大阪府総合体育大会・泉南地区大会成績及び中央大会出場についてです。

別紙1をご覧ください。こちらは泉南地区大会の結果で、各種目の順位を一覧にしており、網掛け部分は、中央大会出場の市町となります。今年度の本市の成績は、12種別で1位、2種別で2位と例年に比べて良い結果となっています。

次に、別紙2をご覧ください。こちらは中央大会の日程表で、各種目の大会日や担当市町、泉南地区代表等を一覧にしています。本市は、先程の別紙1以外にも、柔道・一般男子、剣道一般の部、弓道・一般男子及び一般女子で出場し、10種目19種別で出場することとなっています。報告は以上です。

○谷教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○和田委員

中央大会への出場が増加傾向にあり、いろいろな種目で岸和田市が上位にあることは素晴らしい、嬉しいことです。スポーツをしている方にとって励みになると思います。

今後も子どもから大人までスポーツに親しめる機会を増やし、高みを目指す人が増えていくといいなと思います。

バレーボール一般女子の岬町が辞退した理由がわかれば教えてください。また、地区大会から中央大会に繋がる選手を増やすために、市として何か取組まれてることがあれば教えてください。

○仲村スポーツ振興課長

岬町のバレーボール一般女子は2位だったのですが、岬町の代表チームは他の大会との日程が重複しているということで、残念ながら辞退を申し出られ、3位の岸和田市が繰上げで出場することになった経緯です。

また、地区大会から中央大会へ出るチーム数ができるだけ増えるための今後の取組ですが、各種目の連盟も高齢化が進んでいることや、若い世代の加入がみられないという状況もあり、すぐに課題を解決することは難しいと思うのですが、ソフト面、ハード面含めて、サポートする環境を今後少しでも整えていきたいと考えているところです。

○伊東委員

非常に成績がよくて、多くの種目で1位になられていて、岸和田市はすごいなと思うのですが、怪我や体調不良者などは出なかったのでしょうか。

○仲村スポーツ振興課長

地区大会の方では、大きなけがといった報告は上がっておりません。ただ今度の中央大会は、8月から9月にかけてまだまだ暑い時期での開催になりますので、特に熱中症対策や体調管理、健康管理といったところは、留意していただく重要な点だと思っています。

○谷教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第42号 第38回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催について

○谷教育長

報告第42号について、説明をお願いします。

○井上郷土文化課長

報告第42号につきましては、第38回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催についてです。

受賞者につきましては、選考委員会を令和8年5月29日金曜日に、朝日新聞大阪本社にて開催し、京都大学人文科学研究所 准教授 向井佑介（むかいゆうすけ）氏に決定しております。

向井氏は、大阪大学で考古学を学び、京都大学に移り歴史考古学、特に中国の都の構造体系である都城制を研究されました。

また、難解な中国の古代文献を読み込むことにより、文字記録がある時代を対象とした考古学である歴史考古学のなかで、より多角的な視野で中国の都城制度を読み解かれるなど、濱田青陵が唱えた、考古学を中心とした古代史、歴史学、関連諸科学をも含む学問領域と連携する

研究手法である「学際的研究」を实践される方です。

特に、仏塔に強い関心をもたれ、京都大学で取得された博士号の学位論文も「中国初期仏塔の研究」として刊行され、それが今回の受賞の基本的研究となっています。

授賞式・記念講演・シンポジウムは、令和8年9月27日、日曜日、午後1時からです。会場は岸和田製鋼マドカホールです。

まず市長から表彰をしていただき、その後、ご自身の業績に沿った「仏塔はなぜ変化したか」という記念講演をしていただき、記念講演の後、記念シンポジウムを行います。テーマは、「仏教寺院はどのように伝来したか ―ガンダーラから飛鳥・藤原まで―」です。ちょうど「飛鳥・藤原の宮都」が世界遺産に登録されましたので、それを見越してのテーマ設定でもあります。

周知方法は、広報きしわだ8月号、市ウェブサイト、朝日新聞に掲載します。

ご都合よろしければ是非ご参加ください。一般の参加方法ですが、申込みは不要です。会場に来られない方々のために昨年度と同様、濱田青陵賞運営協議会 YouTube チャンネル、テレビ岸和田ウェブサイトでの当日生配信を行います。

また、昨年度から会場では来場者特典としてミニ展示を行っています。今回は濱田青陵にゆかりのある品を展示予定です。報告は以上です。

○谷教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

説明にありましたように、向井先生の著書では、写真を提示しながら仏塔の説明が進められており、ひとくちに仏塔といっても、時代とともに、また地域によって様々な特徴があることが紹介されています。当日の記念講演を楽しみにしているところです。

委員の皆様いかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告は以上となりますが、他にいかがでしょうか。

ないようですので、議案の審議に移ります。

議案第42号 岸和田市教育委員会の点検・評価報告書について

○谷教育長

議案第42号について、説明をお願いします。

○柿花総務課長

議案第42号につきましては、岸和田市教育委員会の点検・評価報告書についてです。

令和8年度岸和田市教育委員会の点検・評価報告書（案）がまとまりましたので、ご審議をお願いするものです。

今年度の点検・評価の経過につきましてご説明いたします。別紙②の1頁をご覧ください。点検・評価の経過としまして、令和8年4月に定例教育委員会で点検評価対象項目の承認をいただきました。その後、各課で評価シートを作成しまして、6月5日、8月6日と評価委員会を開催し、学識経験者のご意見も頂戴しまして、報告書（案）をとりまとめております。

続いて、3頁をご覧ください。評価委員会委員による点検・評価結果の総評です。

評価委員会からは、今回の教育に関する事務の点検及び評価についておおむね適正であるとの評価をいただきました。その理由及び今後についての意見を続いて順にご紹介します。

1つ目、評価項目についてです。教育重点施策の主要な施策・事業を昨年度から引き続き抽

出しており、教育環境や教育内容の向上に向け継続して見直しを図っている点が評価されました。

2つ目は、成果の指標についてです。例えば「軽減」や「改善」などの一定の成果が「評価」として表れてこない状況もあるが、項目 No. 10 における「教員の時間外在校等時間」においては「時間外在校等時間が 80 時間を超えた月がある者の全体比率」をあらたに指標に設定したことで、成果目標に沿ってより市民にわかりやすい指標設定が図られたことを評価したい。また、項目 No. 8 における「大規模改造工事」の実施率を実態に即した数値にあらためたことで、評価についてより実態に即したものに見直されたことが評価されました。

3つ目は、「目標を下回る」となった項目についてのご意見です。「目標を下回る」評価となった項目では、今後の方向性として「改善して継続」とされていることから、事業の改善を図り、今後の成果につなげていくことを期待したい。項目 No. 9 「小・中学校の適正規模・適正配置の推進」では、引き続き、地域と十分に協議していく必要があるとされており、関係者との連携強化やタウンミーティングでの意見も踏まえながら、適正化の検討を進めていくといった改善案が示されたことは評価したい。また項目 No. 14 「資料の収集・整理・保存、及び郷土資料の整理・データ化の推進」では、平均来館者数や貸出数がやや減少し、目標を下回ると評価しているが、図書館業務の更なる充実を図ることはもとより、人口規模等、自治体のスケールに由る要素も加味した評価指標の見直しも必要と考える、とのご意見をいただきました。

最後 4 つ目は、全体的な評価についてです。点検評価をしました主要な施策や事業の多くが目標通り、目標を上回ると評価である点を評価いただき、そして本点検評価の結果を活かして具体的な取組として改善を重ねて効果的な教育行政を推進していくことを期待するとのお言葉をいただきました。評価委員会委員による総評内容は以上でございます。

本日ご承認いただきましたら、第 3 回定例市議会へ報告し、議会が終了した後にホームページへ掲載し、広報広聴課、山滝支所、各市民センターで閲覧していただけるように配置し、広く市民にも公表をしていきます。説明は以上です。

○谷教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○大荷委員

項目番号 10 では、教職員の時間外在校等時間が 80 時間を超えた月がある者の全体比率という項目がありますが、部活動の地域展開についての講習を受けた際に、令和 11 年度までに公立の義務教育学校等の教職員の 1 ヶ月の時間外在校等時間を平均 30 時間程度に削減することを目標にするということをお聞きしたのですが、本市としても、そのような方向で進めていけるのでしょうか。

○柿花総務課長

項目番号 10 の教員の業務負担軽減に向けた取組にある時間外在校等時間に関しての数値目標について、岸和田市教育委員会におきましては、関連する計画として今年の 3 月に、市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を策定いたしました。国の方が示す目標はおっしゃる通り令和 11 年度までに平均 30 時間程度にすることを目標に設定されておりますが、本市の計画には、1 ヶ月の時間外在校等時間が 45 時間以下の割合を 100%にするという目標を書かせていただいております。国の方針に沿って設定しております。

○和田委員

項目番号1の読書活動事業ですが、令和6年度、令和7年度を比べますと、小中とも学校図書館の活用時間は増えているのですが、貸出冊数が減っていることが気になりました。

授業で図書館を使うことと、子ども達が自分から本を読むことは違うものだという結果だと思いますので、令和8年度に学校司書を25名に拡充することを有効に活用していただくためにも、工夫が必要なのではないかと思いました。

○倉垣学校教育部長

ご指摘の通り、図書館の活用時数は増えているのですが、貸出冊数が減っています。子ども達の本離れという言葉で片付けてはいけないと思いますが、本に親しむということが大きな課題となっております。小学校においては図書室を活用する授業を週1時間確保しているのですが、中学校の場合は授業のコマ数としては確保されていません。それぞれの教科指導の中で、調べ学習等を通じて図書館を活用する状況もあるのですが、各自の端末を使い調べ学習を行うケースもありますので、そういったことも相まっただの数字が出ている部分もあるかと考えております。とはいえ、図書館の活用冊数を確保するというのも大きな課題と考えておりますので、その辺りも学校と連携しながら取組んで参ります。

○植原教育長職務代理者

まず、教育重点施策が教育基本方針と合わせていることは大きな成果であると思います。そこに合わせて点検、評価を展開させていることは、誰が見ても教育基本方針に一致することがわかるものだと思います。

次に、今後の課題や方向性について、以前に比べて非常に具体的になっている印象を持ちました。例えば、学校教育ではA I ドリルをこれから導入して実施していくことや、図書館では図書館の3つの役割、読書センター、学習センター、情報センターといったことに関して具体性が非常にあり、わかりやすいものになっています。

気になる点では、項目番号3における産業教育の充実における今後の方向性の1つめに少子化や授業料無償化による公立高校志願者の減少を見据えた今後の産業高校のあり方を検討する必要があると記載されていますが、どのように今考えているのか抽象的な表現に感じました。方向性の2つめのPRに関しては、これまでの取組としても教員による中学校訪問、学校説明会、オープンキャンパスまで含めて非常に具体的な取組を記載してくれています。方向性の3つめもデジタルに強い人材育成に努めると具体的に示してくれていますが、1つめの方向性について、今現在どのような考えをお持ちなのか教えていただきたいです。

○橋本産業高校学務課長

近年では志願者やそもそも子どもの数が減っており、志願者数が減っていく流れのなかで今まで通りでいいというわけにはいかないということは当然認識しているところです。今後どのように手を加えていけないのかということを考えていきたいのですが、今の産業高校学務課の体制の中で考えていくことが、体制として厳しい部分があることを感じているところはあります。ただ、今後の産業高校のあり方を考えていく組織作りが必要であると考えているところですので、このような記載になったものです。

○植原教育長職務代理者

大学においても、高校の生徒数が激減して、全国で200近くの大学が定員割れを起こしています。やはり生徒数の減少に対応するために具体的にどのようにしていくことがいいのかということには至急取り掛かる必要があると思います。特色ある学校作りと一言で言っても、難しい問題です。子どもが減っていく中で、考えていくべきことだと思います、志願者の倍率が減りました、これは子どもの減少が原因ですということだけでは済まないと思います。このような状況でも学生が増えている大学もあります。高校も同様だと思います。早く具体的な施策を考えて、それをどうオープンしていくかということが今後の課題だと思います。難しいと思いますが、産業高校の中で話し合っただけで課題をしっかりと見据えていただき、教育委員会としても高校が減少していくことに対する対応を考える必要があると思います。

○谷教育長

学校で検討して取組めること、市教委で取組むべきものがあると思います。しっかりと検討しながら進めていきたいと思っています。

○伊藤委員

項目番号15の部活動地域移行の推進についてですが、部活動を地域移行します、推進しますということについての評価の指標としては、実施回数や参加人数だと思うのですが、評価のところでは、参加クラブ数は達成、参加人数はやや未達成という報告があり、満足度調査の結果も載せられています。評価における各数字が多いのか少ないのかということは、評価における達成状況や満足度調査の数字に出ているのかと思いますが、総括評価では目標通りとなっておりますが、先ほどの総合体育大会の報告でもありましたように、非常に気温が高くて熱中症であるとか部活動の移行をしても、実施できない日もあるかと思っています。評価として参加人数や実施回数をみられるかと思いますが、実施できなかった理由や数値も出したほうが、実際に気温が高過ぎて、外でのクラブ活動ができないこともあるかと思っていますので、適正な評価になるように、そういう状況も評価の中の項目に入れておくのはどうかなと思うのですがいかがでしょうか。

○仲村スポーツ振興課長

令和7年度につきましては、秋口から冬場にかけての実施でしたので、熱中症の危険性はなかったのですが、今年度はちょうど夏休みの期間中に実証事業を行っており、やはり熱中症の対策が非常に重要な観点でもありました。指導者の方にはいろいろとご配慮いただいて実施していただいております。けがや熱中症の対策といった観点も踏まえて指導者の方と連携しながら実施できたのかどうかというところは、今後考えていきたいと思っております。

○伊藤委員

実施できなかった理由の1つとして、評価の中に熱中症指数等から実施できなかった日が多かったから実施できなかったということも、評価を判断する際の参考になるのではないかと思いますので、項目として設けることも検討されてもいいのではないかと思います。

○大荷委員

項目番号16の牛ノ口公園運動広場と総合体育館のリニューアルですが、リニューアルはどのような内容なのかがわかる範囲でおしえていただけないでしょうか。

○仲村スポーツ振興課長

牛ノロ公園運動広場のリニューアルにつきましては、運動広場ができてから 60 年以上が経ち、かなり劣化が進んでいる状況です。内容としてはグラウンドの排水設備等を全面的にやり直すことや土のグラウンドの外野部分につきましては、人工芝を敷くことや観客席のスタンドやトイレも合わせてリニューアルする予定です。

総合体育館につきましては、照明の LED 化や、メインアリーナの床が 30 年経ち、傷んできておりますので、床も全面的にやり直します。観客席も傷んできておりますので合わせてリニューアルする予定です。

○植原教育長職務代理者

項目番号 17 の文化財の活用に関する今後の方向性では、3 つめに文化財の保存はもちろん、よりよい活用のあり方を示すことにより、文化財に対する理解を浸透し、有意義な利活用を推進するとありますが、有意義な利活用とはどのようなことを想定されているのでしょうか。

○井上郷土文化課長

文化財のよりよい活用として、こちらで想定しておりますのは、単なる展示ケースの中のものを見てもらうというものだけではなく、具体的には、本物の甲冑を着ていただく体験をすることや、展示物に実際に触れていただくことを考えております。

○植原教育長職務代理者

項目番号 14 の今後の方向性に、レファレンスについて充実を図るとありますが、レファレンスの状況はいかがでしょうか。

○宇野図書館長

レファレンスは自分の家系を調べたいといったことや、だんじりの歴史を知りたい、といったものがあると司書から報告を受けております。令和 6 年度では図書館本館になりますが、レファレンスが 1 年間で 105 件ありました。

○植原教育長職務代理者

レファレンスが 100 件を超えるのは、岸和田市民がそれだけ読書について非常に興味を持っていることが伺えました。レファレンスが少ない図書館もありますが、岸和田では多いことがわかりました。

項目番号 12 の学び舎プログラムですが、今後の方向性で、社会問題をテーマとするが、より多くの人が興味を持つテーマを検討するとありますが、社会問題をテーマにすると多くの人が興味を持たないのでしょうか。

○長谷川生涯学習課長

社会問題をテーマとしているのですが、より多くの人が興味を持つテーマを社会問題等の中から幅広く検討していくという趣旨です。

○植原教育長職務代理者

社会問題のなかから興味を持てる分野を選んで実施されていることを理解いたしました。

今年、社会問題をテーマにして実施した学び舎ゼミでは、募集したときの応募者数は定員に對してどうだったのでしょうか。

○長谷川生涯学習課長

学び舎ゼミ自体は取組内容として報告している通り一定数の参加者がありました。不登校に

ついてをテーマに、学校に行けないことや、学校以外の場所としてどのようなところがあるのかといったことを一連のシリーズにして講座を実施する形でした。社会問題をテーマにすると決めておりますので、社会問題であり、かつ、親しみを持てるテーマを設定すること念頭に置いて実施していくことが課題ということです。

○植原教育長職務代理者

学び舎ゼミに参加している方々からのテーマに関しての声はどのような声がありますか。

○長谷川生涯学習課長

今年については不登校や学校以外の居場所ということがテーマになっておりましたので、実際に悩みを持つ当事者の保護者等の参加も多く、いろいろなことを知れて、学びにつながったというような反響をいただいております。

○植原教育長職務代理者

市民の評価が高かったということがわかりました。いいことだと思います。

市民の声を聞きながら、さらに興味をもつテーマを設定していくということを理解しました。

○大荷委員

項目番号9ですが、評価のところで、タウンミーティングでいただいたご意見を踏まえて適正化の検討を進めているところであり、地域と十分に協議していく必要があるとありますが、概要には山手の新たな小中一貫校について検討を中止するとあります。タウンミーティングによって、その小中一貫校の検討を再開するということはあるのでしょうか。

○今橋学校適正配置推進課長

タウンミーティングについてですが、昨年度のご意見では、学校の適正化に関する意見自体はそう多くはなかったように思います。出された意見の内容としましては、学校を残して欲しいといったご意見や、地域に合った学校教育をとといったご意見がありました。また、空き家が増えており子どもも減っているというご意見もありました。今年度のタウンミーティングで、どのようなご意見が出るかというところもあるかと思いますが、タウンミーティングでご意見も踏まえ適正化の取組を進めてまいりたいと思います。

○谷教育長

ただ今、様々なご質問やご意見をいただきました。いただきましたご意見については、次年度に向けて事務局で活かしていただくという受けとめでよろしいでしょうか。

○植原教育長職務代理者

いつも申し上げておりますが、市民の方への問合せに関しては、具体性を持った内容を頭に入れて説明するようにして欲しいと思います。私も同じような仕事していた時期がありました。が、抽象的だとどうしても理解に差が出てします。具体性を持ったときに初めて市民の方と我々が同じような考え方、共通理解をもって進めていけるものだと私はいつも思います。その辺もご考慮お願いします。

○谷教育長

ご指摘ありがとうございます。他にいかがでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

議案第 43 号 補正予算について（事業費補正）

○谷教育長

議案第 43 号について、説明をお願いします。

○倉橋学校管理課長

議案第 43 号につきましては、補正予算について（事業費補正）です。

本年度、土生中学校のエレベータ設置工事を施工するに当たり、令和 7 年度に実施した設計業務において判明した電力量不足を解消するため、高圧受変電設備の改修に必要な予算を増額するものです。

令和 8 年第 3 回定例市議会にて、歳入歳出予算補正を審議いただくもので、歳入歳出予算補正見積書は別紙のとおりです。説明は以上です。

○谷教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

ないようですので、原案のとおり承認することとします。

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

ないようですので、これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後 3 時 15 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員